

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぬくもりの森 中央			
○保護者評価実施期間	2025 年 2 月 1 日		～	2025 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27 名	(回答者数)	25 名
○従業者評価実施期間	2025 年 2 月 1 日		～	2025 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 名	(回答者数)	5 名
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 3 月 20 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外活動の充実で経験値を高める。	遊びの中にボランティア活動も取り入れ、年数回のゴミ拾い。 川遊びや山登り体を使う活動。 前日に当日の活動をお伝えし、自立も含め自分で準備が出来る姿を目標にしている。	子ども達が自分たちで考え計画しながら取り組められる活動を検討中。
2	スタッフ間で支援内容や、児童の様子保護者からの思いなど、その都度共有出来る。	記録記入時に話し合いながら記録をとり、スタッフ間で話し合いを密にしている。 休みのスタッフにも共有するため、ラインでの情報共有しています。	家庭での困りごとなども含めて、課題をスタッフ間で、共有出来るように常に共有を増やしていきます。
3	自分で選択し、決定することが出来る支援を行う。	活動を自分で考えるように、スタッフからの発信にならない様児童中心に考えサポートしています。	自分で考え楽しむ力を育むための、ヒントになる様な、活動の充実を増やします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	不登校児に対する関わり。	まだまだ勉強不足が考えられる。	現在不登校児がその後社会資源（教育支援センター）使い社会生活から離脱しないようにしている途中です。
2	中学生以降の時間の取り方。	小学生以下の児童には、まだ家庭の時間も持ってほしいのと、中学生以上では時間が不足であることの狭間で、考えている途中である。	他事業所との関わりを深める取り組みや関わりが必要。
3	各種マニュアルを作成しているが、保護者に対する浸透ができていない。 児童の避難訓練も浸透していない。	訓練の様子お手紙に入れてはいるが、周知の仕方が他の活動も乗せていてわかりにくい部分が見られた。	再度周知出来るように、定期的に発信していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ぬくもりの森 中央						公表日	2025 年 4 月 1 日	
								利用児童数 (家庭数)	17 名 (2025年3月15日時点)	回収数 25 件
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21		1	3	運動スペースが足りない。	運動する場所は確保していますが、同じ遊びをする児童が多い場合は多少狭く感じることがあるとは思いますが。自分たちで交通整理する姿を目指します。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	2	1		男性スタッフが少ない。 少ないと感じることがある。	適正に基準は満たしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19		1	5				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	2	1					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	2	1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25							
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	2	1					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	3	1		遠出が減少したように感じる。	事業所内で、検討していきます。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	14	3		望んでいない。	一部交流を求めている児童もいるためか今のところ考えていない。		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	2						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	6	13				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	2						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24			1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	15	6			現在実施しておりませんが、要望をお聞きしながら体制を整えていきます。		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			4				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22			3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18		1	6		周知徹底の方法を変えていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			6		年2回の実施しておりますが、保護者の方たちにわかりやすく提示できるようします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23			2	解らない。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22		1	2		安心感を持ち来所できるように、今後も対応していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22		1	2	崩れる子がいるから。気分のムラはあるが、基本楽しみにしている。	安心感を持ち来所できるように、今後も対応していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24			1	聞いたことがないのでわからない。いつもありがとうございます。	お伝えする方法を、検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぬくもりの森中央		公表日		
				2025 年 4 月 1 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に合わせて場所を仕切っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		高低差と、カーテン仕切り（ネット状）で学習、静、動に分けている。 バリアフリー化はしていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンする場所はある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		記録記入時全員で集まり、話し合いながら記入している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者評価表を基に話し合いしている。	災害時マニュアルの周知が課題。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議と職員面談で意見の把握に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月研修の開催と、機関支援おがる研修を取り入れている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成済み。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			翌日記録を基に話し合いながら共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			翌日記録を基に話し合いながら共有している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		年齢に応じてにはなるが、本人にも計画書を基に説明をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			年齢層が上がり色々なことを想定し、連携を増やすようにする。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		定期的な、機関支援おがる研修を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		年齢的に嫌がる児童もいるため、現状は考えていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時お伝えするが周知が足りない。年に1回程度お手紙など周知できるようにしていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談と電話での対応。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	現状できていない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に更新している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		今まで通り鍵付きで保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		規定通り実施している。	周知ができていないと感じたため工夫が必要。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		年度代わりに薬病歴含めたフェイスシートの記入をお願いしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在はなし。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に実施。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難経路を伝えている。	保護者評価表にて周知が甘い出来ていないと感じられたため周知の方法を再度改善。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎月の会議にて共有。	ヒヤリハットの提出者が一定に感じることがあり、改善が必要かもしれない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回のうち1回は出前講座にて研修実施。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		危険防止のための拘束がありそうな場合は保護者確認の上記入している。	